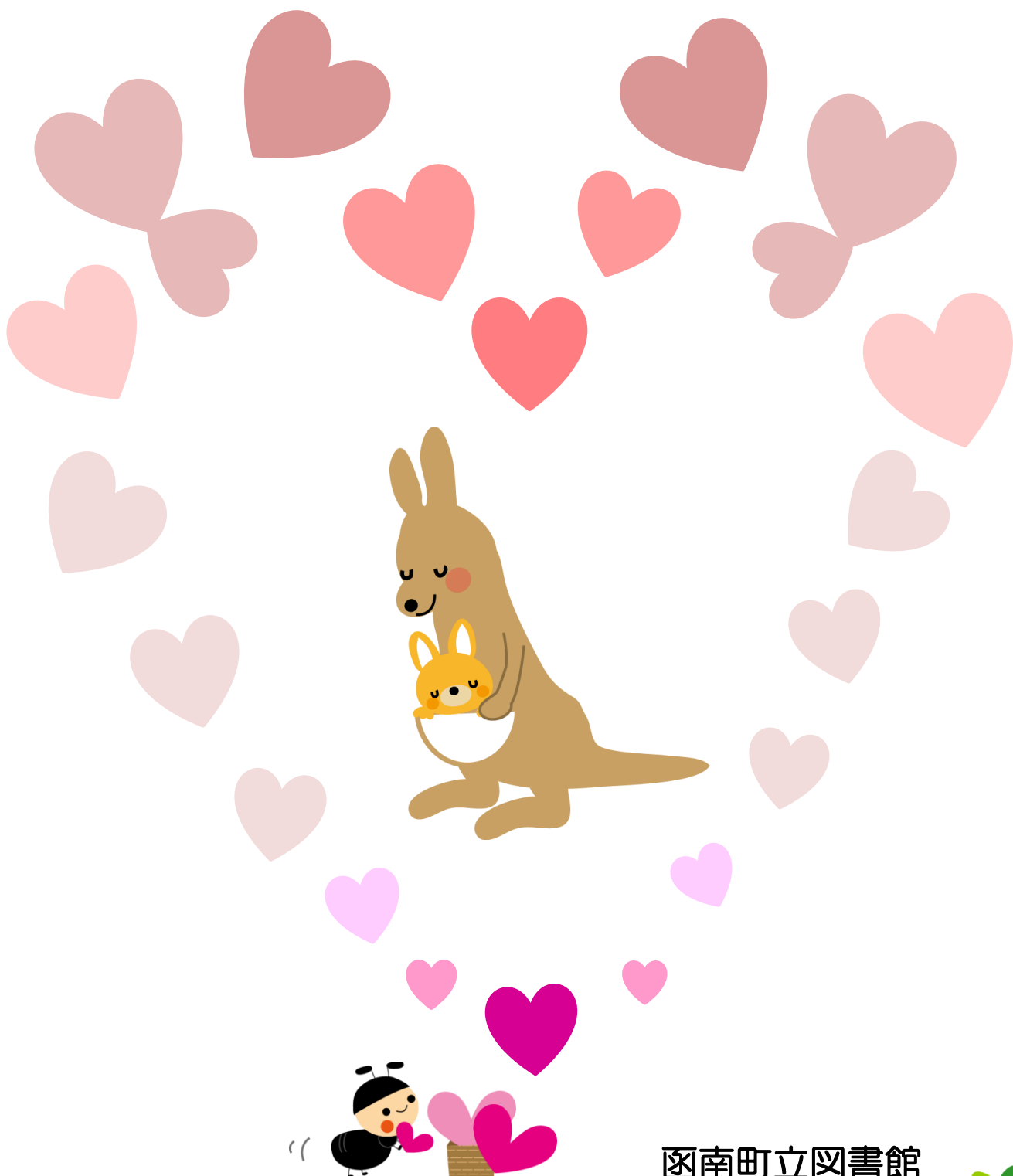


# 親子でふれあうえほん

《3~5歳児向け》



函南町立図書館

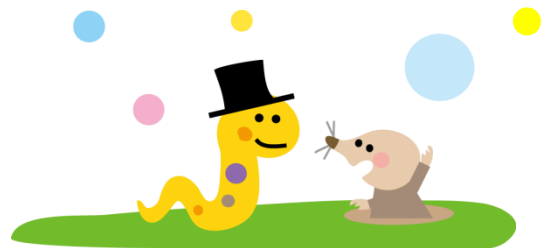




# 目次

# 次

• はじめに	1
• おうちで絵本を楽しむポイント	1
• ロングセラー絵本	2
• 人気がある絵本	4
• 職員おすすめの絵本	5
• むかしむかし絵本	6
• ものしり絵本（生き物）	9
• ものしり絵本（自然/言葉）	10
• ものしり絵本（数）・心をはぐくむ絵本	11
• こども図書館（かなみ知恵の和館 1 階）案内図	12
• 本の探し方	12
• 図書館のご案内	13
• おはなし会のご案内	13



## はじめに

このリストでは、3～5歳の子におすすめの絵本として、親子で、家族で、身近な大人と一緒に楽しめるような絵本を選びました。有名な絵本や長く語り継がれる絵本をはじめとして、幅広いジャンルから選んで紹介しています。

子どもは耳から聞いた言葉のほうが、文字を読むよりも早く理解することができます。また、絵本などの共通のものを通して触れ合いの時間を持つことも、親子にとって大切な時間になります。そして、本を読んでもらった経験は、子どもの心が成長する力になっていきます。お子さんが字を読めるようになって、絵本や本を読んであげてほしい、そんな願いも込めてこのリストをつくりました。

「どんな本を読んだらいいかわからない」「読んだことのない本を読みたい」というときにはこのリストを開いてみてください。新しい本との出会いがあるかもしれません。図書館にはこの他にもいろいろな本がありますので、ぜひお気に入りの1冊を探してみてください。

## おうちで絵本を楽しむポイント

おはなし会などのよみきかせとは一味ちがったおうちよみの魅力を紹介します。



### その1.

#### フリースタイルで！

よみきかせは決まった時間に静かに聞く…いえいえ、おうちよみは**フリースタイル**で読んでいいのです。抱っこしながら、ねっころがりながら、「なんで、なんで？」にも答えてあげてください。ページを行ったり来たりしても構いません。気になるところはじっくりと、お気に入りの箇所や本は何回でも繰り返し読んであげてください。

### その2.

#### 敏感にキャッチ！

見つめ合える近さで読んであげられるので、子どもの表情を**敏感にキャッチ**することができます。今、何に興味を持ち、どのように考えているのか…など、本を通して感じとることもできます。おしゃべりもしてみてください。「もうこんな意見をもっているんだ…」なんて新たな発見に驚くかもしれませんね。

### その3.

#### 「つづきは明日…」

「このお話はまだちょっと長いかな…」本を選ぶときに長い話をさけて選んだことはありませんか？おうちよみは、長い話だって読めるんですよ！なぜなら**「つづきは明日…」**でいいんですから。

～本をかこんで笑顔を交わし合う「しあわせの時間」は、  
子どもを安心させるかけがえのないひとときになるでしょう～



## ロングセラー絵本（日本）



『14ひきのひっこし』  
 （「14ひきのシリーズ」より）  
 いわむら かずお/作  
 童心社  
 （Eイ）

「もりのおくめざして、さあしゅっぱつ。」  
 14ひきのねずみの家族のお引越しです。  
 川を渡り、不安な一夜を過ごし、やっとす  
 てきな根っこを見つけ…。

世界中で愛されている「14ひきのシリ  
 ーズ」1作目は、家を探すところからはじ  
 まります。この家を舞台にして、2作目以  
 降もいろいろな物語が描かれています。シ  
 リーズ通して、ぜひお楽しみください。

一言メモ



『ねずみくんのチョコッキ』  
 （「ねずみくんシリーズ」より）  
 なかえ よしを/作  
 上野 紀子/絵  
 ポプラ社 （Eウ）

ねずみくんの赤いチョコッキは、おかあさ  
 んが編んでくれたものです。「いいチョコッキ  
 だね」と、いろいろな動物がかわるがわる  
 借りに来ます。ねずみくんの大切なチョコ  
 キはどうなっちゃうのかな？白黒の絵に、  
 赤いチョコッキが印象に残る絵本です。

ねずみくんの絵本はこれ以外にもありま  
 す。ねずみくんの楽しいお話がたくさんあ  
 るので、ぜひ読んでみてください。

一言メモ



『からすのパンやさん』  
 かこ さとし/作・絵  
 偕成社  
 （Eカ）

からすのまち、いずみがもりにある1軒  
 のパンやさん。4羽の子がらすが食べてい  
 た「おやつパン」がまちで評判に。どっさ  
 りパンを焼き、おかげで店の前は大騒動  
 に…！「とってもすてきな、かわったかた  
 ちの、たのしい、おいしいパン」に思わず  
 目を奪われます。

約40年読み継がれたロングセラー絵本。  
 2013年には待望の続編が4冊も出版され  
 ました。合わせてぜひ読んでみてください。

一言メモ



『だるまちゃんと  
 てんぐちゃん』  
 （「だるまちゃんシリーズ」より）  
 加古 里子/作・絵  
 福音館書店 （Eカ）

てんぐちゃんが持っているものを何でも  
 欲しがるだるまちゃん。うちわ、ぼうし、  
 くつ、最後には何と…！大好きな友だちと  
 同じものにあこがれる気持ちには、共感で  
 けるのではないのでしょうか。

だるまちゃんという独特のキャラクター  
 ながら、いかにも子どもらしい言動でユー  
 モアたっぷりに描かれている絵も見どころ  
 です。

一言メモ

## ロングセラー絵本（日本/外国）



『はじめてのおつかい』  
筒井 頼子/作  
林 明子/絵  
福音館書店  
(E八)

みいちゃんは5歳。ある日、ママから初めておつかいを頼まれます。「うん！」と元気に返事をしておつかいに出発しますが、坂で転んでしまったり、お金を落としてしまったり…。みいちゃんはママとの約束を守って無事におつかいできるかな？

絵本に出てくるポスターや背景の人物にもぜひ注目してみてください。細かいところに新しい発見があって、何度でも楽しく読めます。

一言メモ



『もりのなか』  
マリー・ホール  
・エッツ/文・絵  
まさき るりこ/訳  
福音館書店 (E工)

子どもはよくミニカーや積み木などを行列させて遊びます。「もりのなか」で動物たちが行列するのは、このお話が「ぼく」の心の中の遊びだからなのでしょう。お父さんが探しに来て、ぼくが現実の世界に戻ると動物たちは消えてしまいます。そして「…またこんどさんぽにきたとき、さがすからね」の言葉通り、『また、もりへ』のお話へと続きます。

一言メモ



『こねこのぴっち』  
ハンス・フィッシャー  
/文・絵  
石井 桃子/訳  
岩波書店 (Eフ)

ぴっちは兄弟たちとは違うことをしたいと思い、家を抜け出していろいろな動物たちの真似をします。でもなかなか思うようにはいきません。気が付くともう夜。家に帰りたくなりました…。

60年以上読み継がれたロングセラー絵本。ハンスフィッシャーの描く温かみのある絵が、ぴっちの魅力をより一層引き立てています。関連本の『たんじょうび』もおすすめです。

一言メモ



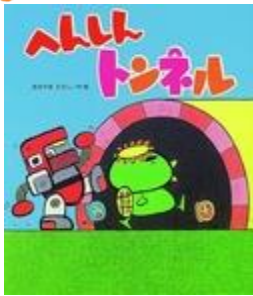
『さかなはさかな』  
レオ・レオニ/作  
谷川 俊太郎/訳  
好学社  
(Eレ)

同じ池に住む、おたまじゃくしと小魚の二ひきはとてななかよしでした。しかし、大人になり、かえるになったおたまじゃくしから外の世界の話を聞いた魚は、かえるのまねをして、池を飛び出してしまいます。さあ、大変…！

かえるはかえる、魚は魚。他の人をうらやましく思ったり、ないものねだりをしてしまったりするとき読むと、はっとさせられる絵本です。

一言メモ

## ✿ 人気がある絵本（日本/外国） ✿



『へんしんトンネル』  
 (『へんしんシリーズ』より)  
 あきやま ただし/作・絵  
 金の星社  
 (Eア)

「かっぱ、かっぱ」とつぶやきながらトンネルをくぐったカッパは、「ぱっか、ぱっか」といきおいよく走る馬に変身してしまいました。この不思議なトンネルをくぐると、いろいろなものが変身してしまいます。

「へんしんシリーズ」は10冊以上出ています。知らないうちに声に出して読みたくなり、どれから読んでも面白い、親子で笑える絵本です。

一言メモ



『バムとケロの  
 にちようび』  
 (『バムとケロのシリーズ』より)  
 島田 ゆか/作・絵  
 文溪堂 (Eシ)

サッカーも砂遊びもできない雨の日曜日、バムとケロのふたりはどんなふうにご過ごすのかな？

絵本のそこかしこに作者の趣向がこらされています。お話だけでも面白いですが、文に書かれていないひみつを探すのがまた楽しくて、読むたびに大好きになる絵本です。「バムとケロのシリーズ」の他の絵本とのかくれたつながりも見つかりますよ。

一言メモ



『おまえうまそうだな』  
 (『ティラノサウルス  
 シリーズ』より)  
 宮西 達也/作・絵  
 ポプラ社 (Eミ)

アンキロサウルスの赤ちゃんを食べようとしたティラノサウルスが、お父さんと勘違いされるところから物語がはじまります。

ティラノサウルスは赤ちゃんの素直な言葉、まっすぐな姿勢に戸惑いながらも、次第に心を奪われていきます。愛情が芽生えてきたティラノサウルスが最後に出した答えとは…。

宮西達也さんの「ティラノサウルスシリーズ」第1作です。

一言メモ



『ひとまねこざると  
 きいろいぼうし』  
 H.A.レイ/文・絵  
 光吉 夏哉/訳  
 岩波書店 (Eレ)

しりたがりやでひとまねが好きなさるのじょーじ。次々と危ない目に遭いますが、いつも誰かが助けてくれます。てんてこまいさせられても、みんなじょーじのことがかわいくてたまらないのです。

テレビアニメでも人気の「おさるのジョージ」第1作。きいろいぼうしのおじさんとじょーじが出会ったときのお話です。

絵本のどこかにディズニーのキャラクターが描かれていますよ。

一言メモ

## 職員おすすめの絵本（日本/外国）



『おもちのきもち』  
かがくい ひろし/作・絵  
講談社  
(Eカ)

「おもちのきもち」を考えたことはありませんか？おもちだっていろいろ考え、悩むのです。そして行動するのです！？きっかけは、たごさくさんちのおもちつきでのこと。「わたくし」ことかがみもちは兄弟たちの哀れな姿を見て考えます。このままだと自分の身が危ないのでは！？そこで…。

愛らしいイラストにコミカルな語り口。思わず笑みがこぼれます。お正月におすすめの絵本です。

一言メモ



『ねこのオーランドー』  
キャスリーン・ヘイル  
/作・画  
脇 明子/訳  
福音館書店 (Eハ)

オーランドーは、「とってもきれいなママレード色のねこ」です。ご主人と交渉し、お休みをもらって家族でキャンプに出かけます。70年以上も前に描かれた絵本だというのに、子どもたちに魚の取り方やあやとりを教え、絵を描かせるなど、オーランドーはかなりの「イクメン」です。

オーランドー一家とすてきな休日をお過ごししたら、きっと「またとないほどしあわせなきもち」になれるでしょう。

一言メモ

あたし、ねむれないの



『あたし、ねむれないの』  
カイ=バックマン/作  
パール=バックマン/絵  
やまのうち きよこ/訳  
偕成社 (Eハ)

夜です。リーセンは、お人形がないと眠れません。リーセンがお人形を持ってきてベッドに入れると、今度はお人形が「くまがないと眠れない」と言って…。ベッドの中にはどんどんお客さんが増えて、とうとう満員に！独特なタッチの絵で、目を引く絵本です。

繰り返しのあるお話なので、おやすみの前に読む絵本としてもおすすめです。

一言メモ



『あくたれラルフ』

(「あくたれラルフシリーズ」より)  
ジャック・ガントス/作  
ニコール・ルーベル/絵  
いしい ももこ/訳  
童話館出版 (Eル)

ラルフはセイラの飼い猫で、いつも悪さばかりしてみんなを困らせています。サーカスを見に行ったとき、あまりにもひどい態度に怒ったお父さんは、ラルフを置き去りにして帰ってしまいます…。

悪さばかりするラルフでもセイラは大好きです。家族の愛があるからこそ、のびのび、自由に行動できるのかもしれないね。

他の「あくたれラルフシリーズ」もおすすめです。

一言メモ

## ✿ むかしむかし絵本（日本） ✿



『みるなのくら』  
おざわ としお/再話  
赤羽 末吉/画  
福音館書店  
(Eア)

若者が泊めてもらった屋敷には、12の蔵がありました。見るなと言われると見たくなる…。好奇心に勝てない人の心は、今も昔も変わらないのでしょうか。若者はとうとう、見るなと言われたさいごの蔵も開けてしまうのでした。

ひとつずつ蔵の戸を開けていくと、見開きページをいっぱいにつかって四季折々、なつかしい日本の景色がひろがります。

一言メモ



『おむすびころりん』  
〔「いもとようこの  
日本むかしばなし」より〕  
いもと ようこ/文・絵  
金の星社 (Eイ)

山へたきぎを拾いに出かけたおじいさんは、おむすびをねずみの穴の中へ落としてしまいました。そして、おじいさんまで穴の中に落ち、ねずみたちに歓迎され、おみやげにつづらをもらって帰りました。それを聞きつけた隣のよくばりじいさんは…。

有名な「おむすびころりん」のお話。「おむすびころりん、すっとんとん、おじいさんころりん、すっとんとーん」。思わず口ずさんでしまう、楽しい絵本です。

一言メモ



『へっこきあねさが  
よめにきて』  
大川 悦生/文  
太田 大八/絵  
ポプラ社 (Eオ)

器量良しで働き者のおよめさん、何日か日がたつうちにだんだん元気がなくなってきた。ばばさが心配してたずねたところ「屁がでたくて…」と答えた。「屁なんてだれでもでるもんだ」とばばさはいったが、これがふつうの屁ではなかった。

方言のように耳慣れない言い回しも、音読すると意味が分かりやすくなります。また、声に出すことで擬音もいっそう楽しくなる絵本です。

一言メモ



『じゅうにしのはなし』  
関根 榮一/文  
岡本 颯子/絵  
チャイルド本社  
(Eオ)

十二支の動物はどうやって選ばれたの？犬がいるのになぜ猫がないの？そんな疑問を抱きはじめる頃かと思います。

関根榮一さんが描く『じゅうにしのはなし』は、動物の習性や特徴をいかしながら語られているので、分かりやすいです。何回か読むうちに、自然と十二支を覚えてしまうかもしれませんね。

十二支の誕生は、他にも紹介されていますので、お好きな本を探してみてください。

一言メモ



## むかしむかし絵本（日本/外国）



『かさじぞう』  
松谷 みよ子/著  
黒井 健/画  
童心社  
(Eク)

「おとしこしだもの、しょうがつさかなにもちにこめ、かってくるから。」じいは笠を売りに町に行きます。けれど1枚も売れません。帰り道、歩き疲れたじいが立ち止った先にいたのは…。

黒井健さんの優しく綺麗な絵と松谷みよ子さんの語りが重なり、雪の日の物悲しさを漂わせます。育てることのできなかつた子どもとじぞうさまとを重ね合わせた、なんとも切ない、そして心温まるお話です。

一言メモ



『はなさかじい』  
よしざわ かずお/文  
さくらい まこと/絵  
ポプラ社  
(Eサ)

子どものいないじいさまとばあさま。その子どもになった白い子犬は、たくさんの金銀財宝を与えてくれます。それを聞いたとなりのじいさまとばあさまは、犬を借りてきて宝物を探しに出かけますが…。

昔話独特の言葉づかいで、昔の雰囲気を感じながらお話の世界に入り込めます。「はなさかじいさん」のお話は、作者によって話の展開が少し違うことがあるので、読み比べてみるのも面白いです。

一言メモ



『わらしべちょうじゃ』  
杉山 亮/文  
高島 那生/絵  
小学館  
(Eタ)

貧しいけれど心優しい若者が観音様の夢を見ます。「あすのあさ、みちでいちばんさいしょにひろったものを、だいじにもっていなさい。きっといいことがありますよ。」つまりいてころび、1本のわらを拾ってしまった若者が途方に暮れていると…。

若者の親切で優しい心が思いもよらない展開へと導いていきます。思いやりの気持ちをもって相手に接することの大切さを教えてくれる絵本です。

一言メモ



『ブレーメンの楽隊』  
グリム/原作  
スベン・オッター/絵  
矢川 澄子/訳  
評論社 (Eオ)

有名なグリム童話のひとつ、「ブレーメンの音楽隊」のお話です。年をとって仕事ができなくなってきたろばが、楽隊に入るためにブレーメンを目指します。続いて、同じように年を取った犬、猫、おんどりが仲間に加わり、みんなで旅をしますが…。

この絵本以外にも、「ブレーメンの音楽隊」のお話を描いた絵本は多数出版されています。好きなお話を読んでみてください。

一言メモ

## むかしむかし絵本（外国）



『ゆらゆらゆくよ』  
クオン・ジョンセン/文  
キム・ヨンチョル/絵  
金 広子/訳  
小峰書店（Eキ）

このお話は韓国の昔話をもとにした創作昔話です。面白い話がどうしても聞きたいハルモニは、「市にいてこの木綿とお話をひとつとりかえてきてくださいな」とハラボジをお願いします。市に出かけたハラボジですが、誰にも相手にされません。家に向かってとぼとぼ歩いていると…。

リズムカルなお話が見どころです。お子さんと一緒に身振り手振りを添えて読むと楽しいですよ。

一言メモ



『おおきなかぶ』  
A.トルストイ/再話  
内田 莉紗子/訳  
佐藤 忠良/画  
福音館書店（Eサ）

おじいさんが甘くておおきなかぶを作ろうと、畑にかぶを植えました。すると、とてつもなくおおきいかぶができました。かぶを抜こうと、「うんとこしょ どっこいしょ」。ところがかぶは抜けません…。

有名なロシアの昔話です。「うんとこしょ どっこいしょ」という言い回しが繰り返されるのですが、その単純な言い回しがリズムカルで楽しめます。

一言メモ



『イソップのおはなし』  
バーバラ・マクリントック  
/再話・絵  
福本 友美子/訳  
岩波書店（Eマ）

この絵本では、短いイソップ童話が9話、子ども向けに書かれています。

それぞれのお話は、子どもたちが動物のかっこうをして、イソップ童話を基にした劇を演じるような形でまとめられています。少しリアルな絵で、表情豊かな動物たちが生き生きと描かれています。

1つ1つのお話も短いので、イソップ童話を知るはじめの一歩として、手に取ってみてください。

一言メモ



『三びきのやぎの  
がらがらどん』  
マーシャ・ブラウン/絵  
せた ていじ/訳  
福音館書店（Eフ）

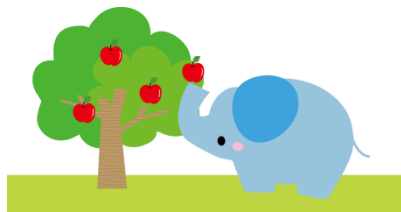
この絵本の挿絵からは、生き物の躍動感やノルウェーの山の空気感が伝わります。

ひよわで小さなやぎが強く大きくなり、恐ろしいトロルに立ち向かっていく。昔話はそれを象徴的に表現しています。子どもはがらがらどんの姿に自分を重ね、成長することの喜びや、困難に打ち勝った先にしあわせがあることに気づくでしょう。

献辞がトロルにも捧げられているところが洒落ています。

一言メモ

## ものしり絵本（生き物）



『これはなだれの?』  
堀 浩/監修  
内山 晟/写真  
ひさかたチャイルド  
(480 コ)

「ながーい、ながいはな、だれのはな？  
くろくてまるい、においをかぐのがとくい  
なはな、だれのはな？」いろいろな特徴の  
ある動物の鼻をクローズアップ。実物大の  
写真であてっこクイズをしてみましょう。  
いくつ分かるかな？

それぞれの動物の鼻についての豆知識も  
一言書かれていて、いろいろな動物の鼻の  
ことを知ることができます。

一言メモ



『どうぶつの本』  
〔こども百科 4・5・6 歳  
のずかんえほん〕  
今泉 忠明/監修  
講談社 (480 ト)

すべてひらがなで書かれているので、文  
字を覚えてたての子どもも自分で読む喜びを  
味わえます。

また、欄外には保護者の方へのコメント  
があり、一緒に楽しむためのヒントが書か  
れています。

このほかに『きょうりゅうの本』、『のり  
ものの本』、『はな・やさい・くだものの本』  
などもあります。

一言メモ



『色わけいきものずかん』  
アンドレ・ボス/絵  
学研教育出版  
(E 木)

色で仲間わけされている、このめずらし  
い図鑑は、フランスで作られたものです。  
日本では見かけない虫や鳥、動物が約 250  
種類、紹介されています。

アンドレ・ボスさんが描く繊細で細密な  
イラストは、今にも動きだしそうな迫力が  
あり、目を奪われます。

生き物に興味をもち始める時期におす  
すめの 1 冊です。

一言メモ



『ほね』  
堀内 誠一/作  
福音館書店  
(E 木)

「ほね」ってなんだろう？「ほね」って  
なんのためにあるの？人間なら誰でも持っ  
ているけれど、目に見えるところがほとん  
どなくて、普段は意識することのない、「ほ  
ね」の不思議を解き明かす絵本です。

読み進めていくと、人間や動物だけでな  
く、身の回りの建物などにも「ほね」と同  
じようなしくみがあることが描かれていて、  
いろいろなものの中身を意識することがで  
きます。

一言メモ

## ✧ ものしり絵本（自然/言葉） ✧



### 『たねいっぱい わらったね』

近藤 薫美子/著  
アリス館  
(Eコ)

「はじけたね」「こぼれたね」「ころがったね」「はこばれたね」…。はじめからおわりまですべて、「～たね」という言葉になっています。また、単なる言葉遊びになっているだけでなく、植物の種がはじけて風にはこぼれてから、花を咲かせるまでが描かれていて、種のことでも学べます。

細かい絵で、生き物たちの会話も添えられており、細部までたっぷり楽しめる絵本です。

一言メモ



### 『たべられるしょくぶつ』

森谷 憲/文  
寺島 龍一/絵  
福音館書店  
(Eテ)

小さい種から芽が出て実になるまで、野菜がどのように大きくなっていくか知っていますか？

この絵本では、きゃべつやねぎなどの身近な野菜が、種を植えてから花が咲いて食べられるようになるまで、どうやって成長するか、順を追って描いています。

おうちで同じ植物を育ててみて、どのように大きくなっていくか、この絵本と比べて見てみるのも楽しいです。

一言メモ



### 『おおごえずかん』

新井 洋行/作・絵  
コクヨS&T  
(Eア)

「あっ！はちがとまっているよ！」はちを発見したときに思わず使う大声。では、お姉ちゃんとけんかをしたときに使う大声は？ 苦しいときに使う大声は？ 「あ」から「ん」まで、「あいうえお」すべての文字ではじまる表現の絵本です。

大きな声を出すと気分すっきり！ぜひ親子で一緒に明るく元気よく、大きな声で読んでみてください。

一言メモ



### 『十二支の しりとりえほん』

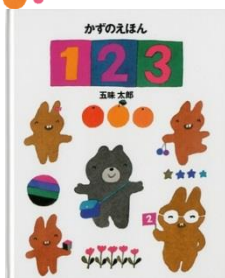
(「ことばあそびえほん  
シリーズ」より)  
高畠 純/作  
教育画劇 (Eタ)

この本は高畠純さんの「ことばあそびえほんシリーズ」の1冊です。ねずみ、みつばち、ちょこれーと…とはじまり、ねずみでおわります。動物がしりとりに合わせていろいろな動きをしているところも見どころです。一緒に声に出して読んでみるとより一層楽しめますよ。

他の「ことばあそびえほん」もぜひ読んでみてください。

一言メモ

## ものしり絵本（数）・心をはぐくむ絵本



### 『かずのえほん1・2・3』

五味 太郎/作  
絵本館  
(Eコ)

「はちうえのはな、ひとつ。おいしそうなにんじん、にほん。あかいいちご、みつつ。」ただ数字を1・2・3と覚えるだけでなく、後半のページでは数字のゲームを楽しみながら、かんたんな算数も身に付きます。

くまさんがうさぎさんのおうちに遊びに行く様子が描かれたストーリーも楽しめる絵本なので、まだ数が分からない子にもおすすめです。

一言メモ



### 『ひとりじめ』

(「しつけ絵本シリーズ」より)  
本間 正樹/文  
いもと ようこ/絵  
佼成出版社 (Eイ)

(たのしいんだけど、たのしくないなあ…)  
(おもしろいんだけど、おもしろくないなあ…)

こんな気持ちどうしたらいい？お友だちとなかよくしたいと思ったくまくんはどうしたのでしょうか？

他者との関係の中で自分を意識するようになったとき、このしつけ絵本シリーズが、そっと何かを教えてくれるかもしれません。

一言メモ



### 『ごめんなさい』

中川 ひろたか/文  
長 新太/絵  
偕成社  
(Eチ)

悪いことをしたら「ごめんなさい」。他の人に迷惑をかけてしまったら「ごめんなさい」。きちんとと言えるかな？

よくある「ごめんなさい」を言わなければいけない例に交じって、電車やお地藏さん、ピアノなどのユニークな面々も登場して、みんなで「ごめんなさい」。

カラフルでインパクトのある、長新太さんの絵がいっぱいに広がる、楽しくて、でもちょっと考えさせられる絵本です。

一言メモ



### 『そらまめくんのベッド』

なかや みわ/作・絵  
福音館書店  
(Eナ)

そらまめくんのたからものは、ふかふかのベッド。いろいろなお豆の友だちがそらまめくんのベッドで眠ってみたいと思いますが、そらまめくんは誰にも貸してくれませんが、そんなある日、そらまめくんのベッドがなくなってしまい…。

幼稚園や保育園の友だちとの関係もはじまる時期に、そらまめくんと一緒に「友だちと分け合うこと」を学ぶこともできる絵本です。

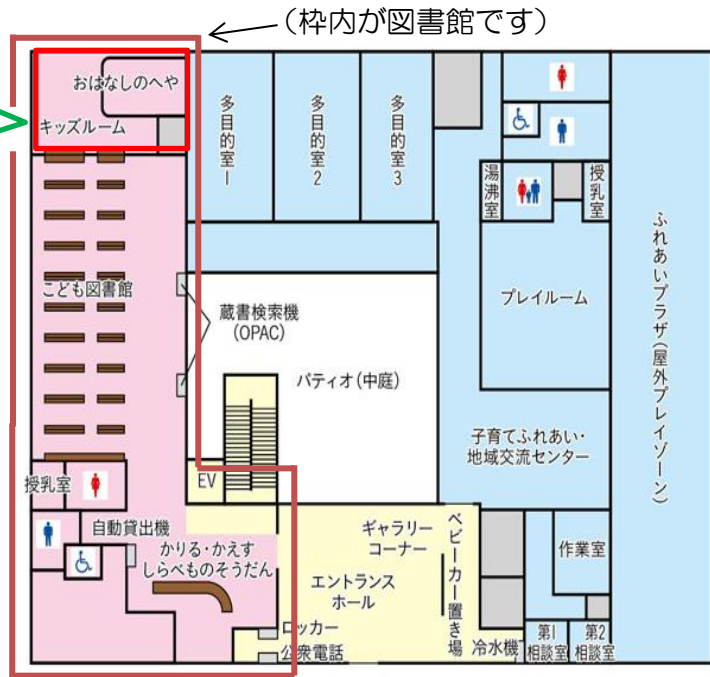
一言メモ

# こども図書館（かなみ知恵の和館 1階）案内図



この場所に、育児の本や  
絵本ガイドがあります。  
おはなし会もここで開催  
しています。

このブックリストに載ってい  
る絵本はすべて 1階にあります。



## 本の探し方



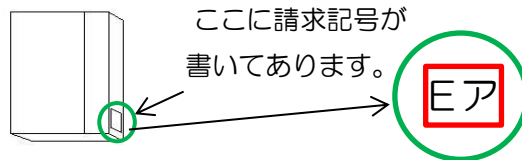
### 1 借りたい本を探す

- ① 蔵書検索機 (OPAC) で借りたい本を探す。
- ② 本が決まったらレシートを印刷する。

### 2 レシートの見方

- ① レシートの左下に記載されている場所を確認してください。
- ② 「閉架」の場合は、閉架書庫より本をお持ちしますので、カウンター職員にレシートを渡してお待ちください。
- ③ 「1階開架」や「キッズ」の場合は、レシート右下の請求記号を確認して本を探してください。場所が「キッズ」の場合はキッズルームにあります。請求記号にはアルファベット・数字・カタカナ等が書いてあります。

カタカナの前に書いてある「E」は  
絵本をさします。



- ④ 絵本は絵作者順に、カウンター側から「Eア～Eワ」の順に並んでいます。また、児童書はジャンル別、作者ごとにカウンター側から「000ア～999ワ」という順に並んでいます。



## 図書館のご案内

- ◆ 開館時間  
火・木・金曜日 午前 9：30～午後 6：00  
水曜日 午前 9：30～午後 8：00  
土・日・祝日 午前 9：30～午後 5：00
- ◆ 休館日  
毎週月曜日（祝日にあたる時はその次の平日）  
毎月第 4 金曜日（祝日にあたる時はその前日）  
図書特別整理期間（毎年 10 日以内）  
年末年始（12 月 29 日～1 月 4 日）

※開館時間、休館日は変更になることがあります。詳しくは図書館にお問い合わせいただくか、[図書館ホームページ](#)をご覧ください。図書館ホームページは、各種検索サイトより  と入力して検索してください。

### ◆ 資料を借りるには

図書館の資料を借りるには、利用者カードが必要です。「利用者カード交付申込書」に必要事項を記入し、身分証明書と一緒にカウンターにお持ちください。

※協定市町にお住まいの方は、身分証明書のほかにお住まいの市町の図書カードが必要になります。

★協定市町…三島市・沼津市・伊豆の国市・熱海市・長泉町・清水町・伊豆市・裾野市

※小学生以下のお子様は、保護者同伴の上ご来館ください。なお、ご本人または保護者の方の身分証明書が必要となります。

貸出点数：図書 10 冊以内・雑誌 3 冊以内・視聴覚資料 3 点以内  
貸出期限：2 週間以内



## おはなし会のご案内

図書館では、火曜日と木曜日におはなし会を開いています。絵本・紙芝居などを使ってお話を読むほか、手遊びなども行っています。皆さまお誘い合わせの上、お越しください。

場所：函南町立図書館 1 階 キッズルーム内「おはなしのへや」  
日時：毎週火曜日 15：30～16：00  
毎週木曜日 10：30～11：00



2015年3月 初版発行  
2018年1月 第二版発行

